

事務事業調査 平成23年度	No	792	課名	文化財課	起案者	江坂生駒
			係名	管理係	決裁者	杉浦講平
事業種別	施設管理		区分	継続	業務一覧No	1, 2, 3
事務事業名	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター施設管理事業				他係名	
					他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館		予算科目(会計)		一般会計
			予算科目(款・項・目)		50-25-60
			総合計画以外の計画		
			関連する総合計画の施策		4-4-2-1-2
性質区分	市の内部事務事業		法定受託事務	無	
根拠法令	有	博物館法・設置及び管理に関する条例			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業, 行政関連団体		
実施期間	開始	平成02年度	経過	21年目	終了 期間
公約・議会答弁	有	文化ゾーンとしての「安祥文化のさと」をPRする。「平成18年6月議会的一般質問」			
陳情・市民要望	有	施設へのアクセスのための案内標識を充実してほしい。「16年度アンケート要望事項」			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センターの利用者が	～になる	快適に展示鑑賞及び部屋の利用ができるようになる。
事務事業の内容	・利用者がいつでも快適に利用できるように施設を目指すため、常に空調機器の整備及び管理、室内外の清掃、樹木管理等を充実します。			
事務事業進捗状況	・平成20年度 歴史博物館冷温水発生機等オーバーホール ・平成22年度 歴史博物館くん蒸庫設備改修修繕			
改善・対策の履歴	・歴史博物館の施設・設備が20年を経過し、経年劣化しているため、委託業務に支障が出る故障等については速やかに修繕しています。 ・施設・設備管理委託については、委託内容を精査しコストの削減に努めています。 ・点検の適正回数及び室内温度・湿度などの見直しによりコストの削減につとめています。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
		目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e	161,167	139,835	112,445	95,737	115,131	108,143	100,386
	財源計 a	146,107	124,775	97,385	80,677	100,071	93,083	85,326
	財源の内訳							
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	2,164	2,904	2,164	3,081	2,164	3,085	2,164
	一般財源	143,943	121,871	95,221	77,596	97,907	89,998	83,162
	受益者負担金	0	0	0	3,081	2,164	3,085	2,164
	職員人件費 d	15,060	15,060	15,060	15,060	15,060	15,060	15,060
	内訳 従事職員数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名(活動内容)	施設・設備管理委託	見込(単位)	17.00	17.00	17.00	17.00
				実績b(単位)	17.00	17.00	17.00	
		指標名(単位)	委託件数(件)	活動の総事業費f 実績	46,034	42,095	44,082	
				単位コストg=f÷b 実績	2,707.88	2,476.18	2,593.06	
	活動②	活動名(活動内容)	会場の提供	見込(単位)	70.00	100.00	100.00	100.00
				実績b(単位)	50.00	61.00	55.00	
		指標名(単位)	会場提供回数／ギャラリー(回)	活動の総事業費f 実績	34,363	36,541	41,455	
				単位コストg=f÷b 実績	687.25	599.03	753.72	
	活動③	活動名(活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		歴史博物館入館者数(人)		見込(単位)	31,500.00	32,000.00	32,800.00	33,600.00
				実績(単位)	23,677.00	32,599.00	23,929.00	
				達成状況	未達成	達成	未達成	
		目標成果指標値	35,000.00	目標達成年度	平成26年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		埋蔵文化財センター入館者数(人)		見込(単位)	9,000.00	10,000.00	11,000.00	12,000.00
				実績(単位)	9,381.00	9,422.00	8,501.00	
				達成状況	達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	15,000.00	目標達成年度	平成26年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	・長期委託契約により施設設備管理による安定化が図れます。 ・委託業務仕様書の整備により業務管理の明確化しました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	・施設、設備管理委託については、不定期な勤務など難しい仕様でも委託できる方法を検討します。 ・会場の提供回数は、市企画展などの長期利用が多い。
	成果1,2	・特別展、企画展の観覧者が前年に比べ減少したため、館全体の利用人数も減少した。 ・修繕による施設、設備の若返りで施設の維持管理に関する要望数が減少した(温度、湿度管理に対する意見を除く。)

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	・施設、設備の適正な管理を持続します。 ・委託業務内容の更なる見直しを行い、コストの削減を図ります。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	・利用者の声が反映できるような取り組みができるようにするために、ご意見箱による意見の収集をより積極的に行います。